

大阪市における保育事故防止の取組み等について

(1) 大阪市における保育事故防止の取組みについて

① 経過

- 平成 28 年 4 月 淀川区認可外保育施設で 1 歳男児の死亡事故発生
平成 28 年 6 月～ 「こども・子育て支援会議 教育保育施設等事故検証部会」を開催
平成 29 年 7 月 上記部会より「保育事故調査報告書（再発防止策）」受領

② 各種マニュアル・手引書等の発行・認可外保育施設を含む全施設への配付

- 平成 30 年 4 月 事故防止及び事故発生時対応マニュアル作成の手引き
・同マニュアル基礎編と啓発ポスターも配付
・重大事故の起こりやすい「睡眠中」「食事中」「プール・水遊び中」の場面の重要ポイントを掲載
平成 31 年 3 月 食物アレルギー対応の手引き

③ 事故防止巡回支援指導員による施設巡回

民間保育園・認定こども園・地域型保育事業所・認可外保育施設を対象に、重大事故が発生しやすい時間帯（睡眠中・食事中・プール/水遊び中）に重点をおき、事前通告なしで巡回訪問し、施設の状況に応じた助言・指導を行う。（巡回支援員 5 名）

- ・平成 30 年 6 月～巡回開始
- ・各施設年 1 回の巡回
- ・平成 30 年度は 795 施設を訪問
- ・平成 31 年度は分園を含む 933 施設を対象に巡回中
- ・令和 2 年度は企業主導型保育事業も対象に加え、約 1,300 施設を訪問予定

④ 事故防止にかかるアンケートの実施

認可外保育施設を含む全施設を対象に、マニュアルの整備状況や心肺蘇生訓練の実施状況などをアンケート調査。同様のアンケートを毎年実施することで経年変化を把握。

【平成 30 年→令和元年比】

- ・事故防止マニュアルの整備 81.2%→84.0%
- ・事故発生時マニュアルの整備 84.0%→85.8%
- ・心肺蘇生訓練の実施率 67.7%→79.6%
- ・AED 設置 40.8%→50.2%

⑤ 散歩経路の緊急安全点検の実施

本年 5 月に大阪で発生した散歩中の交通事故を受け、国より緊急点検の要請あり。認可外保育施設を含む 1,118 施設を対象に、自主点検を依頼し、危険箇所については、道路管理者・交通管理者・区役所と合同で安全点検を実施した。

- ・合同点検箇所 687 箇所
- ・うち対策必要箇所 459 箇所
- ・対策必要箇所については、今後、道路管理者・交通管理者において安全対策が講じられる

(2) 大阪市に報告のあった市域保育施設の事故報告について（過去3年分）

	死亡	負傷等（意識不明・30日以上の治療を要したケガ）				計	2回以上の 受診があっ た負傷等	
		意識不明	骨折	歯の損傷	その他			
平成28年度	1	10	0	9	0	1	11	123
平成29年度	0	17	0	16	0	1	17	171
平成30年度	0	39	0	32	3	4	39	314

3年分の報告をみると負傷件数が年々増加しているが、監査等での指導により「事故報告書」の提出が定着した結果と思われる。

(3) 内閣府「平成30年度教育・保育施設における事故報告集計」より

平成30年度に国へ報告があった事故のうち、死亡事故は9件あり、病死1件を除く8件は、いずれも0歳・1歳児の睡眠中の事故で、うち6件が認可外保育施設で発生した事故であった。

死亡	負傷等 （意識不明・30日以上の治療を要したケガ）					計
		意識不明	骨折	火傷	その他	
9	1212	11	974	4	223	1221